

① 福島は世界に告発する! 映像で検証する福島の現実

12:40~

今回の国際シンポジウムに向けて、映像作家である堀切さとみさん(「原発の町を追われて~避難民・双葉町の記録」と一緒に2月末より、現地に入ります。聖火リレーの出発地点「Jピレッジ」・飯舘・双葉・大熊・浪江などを取材し、隠された「原発被害の実相」(40分予定)を映像記録し、当日上映します。

② 原発事故被害者は世界に告発する!—被害当事者が語る、隠された「原発被害の実相」

原発避難者 村田弘さん(「福島原発かながわ訴訟原告団」団長・ひだんれん幹事)

今野寿美雄さん(浪江町から福島市に避難 元原発作業員、子ども脱被ばく裁判原告団長)

帰還困難区域 鶴沼久江さん(双葉町から埼玉県に避難、農業・畜産業)

③ オリンピックとフクシマ 世界はフクシマをどのように伝えているか

14:40~

進行 鎌田慧さん(さようなら原発1000万人アクション呼びかけ人)

韓国と台湾 上前万由子さん(郡山市出身ソウル市在住アクティビスト)

ドイツ アンドレアス・シングラーさん(ドイツ在住ジャーナリスト)

フランス コリン・コバヤシさん(フランス在住ジャーナリスト、「国際原子カロービーの犯罪」著者)

日本 片山夏子さん(東京新聞記者)

登壇者紹介

原発事故被害者は世界に告発する

■堀切さとみさん(映像作家)

2008年に市民メディアセンター「MediR」で映画制作を学ぶ。震災直後に、さいたまスーパーアリーナでボランティアとして双葉町の人々に関わったのをきっかけに、『原発の町を追われて』を制作。2013年、女性人権活動奨励賞「やよりジャーナリスト賞特別枠期待賞」を受賞。

■村田弘さん(「福島原発かながわ訴訟原告団」

団長・ひだんれん幹事)

朝日新聞社を定年退職後、故郷の福島県南相馬市小高区で、農耕生活中、福島第一原発事故に遭う。夫婦で横浜市旭区で避難生活を続ける。原発事故被害者救済運動の先頭で闘い続けている。

■今野寿美雄さん(浪江町から福島市に避難

元原発作業員、子ども脱被ばく裁判原告団長)

浪江町生まれ。放射線作業従事者となり原子力発電所などで自動制御措置のメンテナンスなどに従事。2011年3月女川原発に出張中に被災し、現地で復旧支援活動に当たった後、現在も福島市飯坂温泉の公営住宅で避難生活。

■鶴沼久江さん(双葉町から

埼玉県に避難、農業・畜産業)

双葉郡葛尾村生まれ。結婚を機に双葉町で暮らし、夫とともに田んぼと牛飼いをしていた。3・11で埼玉県加須市の旧騎西高校に避難する。双葉町が役場機能を一時置いた埼玉県で、農業法人「ふたば夢ファーム」をたちあげ、野菜を作り続けている。

オリンピックとフクシマ

■上前万由子さん(郡山市出身

ソウル市在住アクティビスト)

中学校卒業までを福島県郡山市で過ごす。中学生の頃、テスト中心の教育へ疑問を抱き、埼玉県飯能市にある自由の森学園高等学校へ進む。福島原発事故をきっかけに、高校卒業後台湾の大学へ。在学中から、反核や平和、民主主義などのテーマにおける市民運動の国際連帯の場に参加。大学卒業後、2017年春に拠点を韓国ソウルに移す。ソウルでは、非営利の放送局にて国際協力担当として勤務。現在は、ソウルイノベーションセンター勤務。企画戦略室にて、国際連携事業等を担当。

■アンドレアス・シングラーさん(ドイツ在住

ジャーナリスト)

ジャーナリスト、日本学学者、スポーツ学博士、マインツ在住。日本学の間では日本の原発反対運動と、2020年東京 オリ・パラ大会の反対運動を研究した。さらに福島の今とこれからの取材し続けている。日本で「ドイツの脱原発への道とエネルギーシフトの今」というテーマについて講演をしている。

■コリン・コバヤシさん(フランス在住ジャーナリスト)

フランス在住。美術家、ビデオ作家、フリージャーナリスト、著述家。1970年代から日仏の軍事・民事の反核運動に関わる。著書・共著書に『国際原子カロービーの犯罪』『グランドの塩物語』(渋沢クロード賞現代エッセイ賞受賞)『市民のアソシエーション』等

■片山夏子さん(東京新聞記者)

東京電力福島第一発電所での事故について、当初、政府や東京電力が炉心溶解を公表していなかった状況下で当事者である原発作業員の方々へ取材を行い、以降、取材を続けている。

